
悪戯狂奏曲

闇雫 歩時

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪戯狂奏曲

【Nコード】

N3184B

【作者名】

闇雫 歩時

【あらすじ】

普通の高校生…鷹野灰葵は少しずつ普段の平凡な生活から離れていく。ごく単純な出逢いから新しい人と出逢い、またそこから新しい出逢いが生まれる。そんなことを繰り返して、灰葵は変わった人からモデルまで幅広く特別な人と出逢う。出逢いにより生まれた絆はやがて語り継がれる…

出逢い

どんなに手を伸ばしても届かなかったもの。
欲しくて、欲しくて堪らなかった。それなのに手に入らなくて。
今もこの手の中は空っぽのまま――

「灰葵っ！何してんのっ!？」

弾む声が俺の体を弾く。背中から抱きついてきたのは幼馴染みの優乃。
乃。

灰葵は優乃を軽くあしらい、スタスタを歩いて行った。

「ちよっとお!! 灰葵ゝ!! どこ行くの!？」

怒って灰葵の背中に言葉を投げつける優乃を尻目に振り向きもせず
その場を離れた。

「ねえ! 向こうに遊馬と千咲居るって!!」

「うそー!! 見に行くっ!」

黄色い声が廊下を飛び交う。

遊馬と千咲とは校内の有名人で、ルックスの良い二人組。

「―嫌!! やめてよ!!」

すぐ近くの教室から声がする。これは……悲鳴、ってやつだよなあ？

「放してってば!! あたしに触らないでよ!!」

気の強い女だなあ。と感心しながらつい気になって聴きいってしまう。

「触るなって何だよ!! お前みたいな性悪女こっちから願い下げだよ!!」

男のキツイ一言が決まってすぐ、それを言ったらしい男が出てきた。

「あ…」

その男と目があってしまい、何と無く気まずさを感じた灰葵はフイ、と顔を背けた。

男は走りさって行き、出るタイミングを見計らっていたかのように女も出てきた。

「…何してんのよ。もしかして立ち聞き?」

嫌そうに灰葵に話しかける女は、同じクラスの橘タチバナ咲羅サラ。何故か欠

席が多くて仲の良い友達もつくらないため話したことは無いが、自分と似ていると思わせられる場面が何度かあった。

「ああ。鷹野さんじゃない。」

鷹野タカノは灰葵の名字。名前、知ってたのか。と当前ねことに少し驚きながら橘の顔をまじまじと見る。「…何?」

「あ…いや…」

不機嫌そうに眉を潜める橘に気付き、言い訳を言おうとしたのに言葉が出てこなかった。

「あゝ灰葵…」

背に刺さった言葉は灰葵をひどく安心させた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3184b/>

悪戯狂奏曲

2011年1月28日05時49分発行